

北陸の農作物作付(栽培)延べ面積は27万3,700ha。うち、水稲(子実用)作付面積は20万1,800haで74%を占める。

令和4年8月31日公表

令和3年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率による

1 北陸の農作物作付(栽培)延べ面積

北陸における令和3年の農作物作付(栽培)延べ面積は27万3,700haで、前年に比べ1,300ha減少した。

図 令和3年農作物作付(栽培)延べ面積

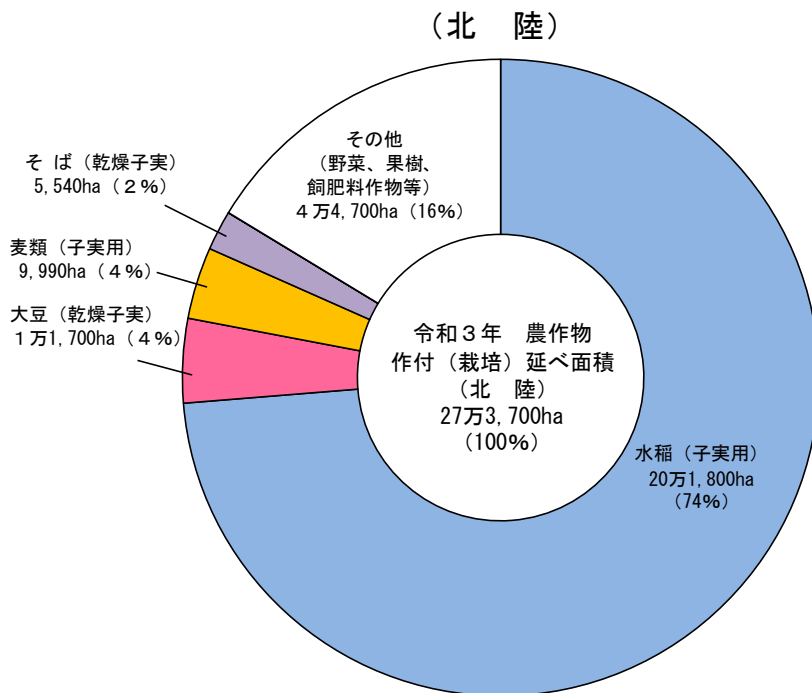


表 1 令和3年農作物作付(栽培)延べ面積(北陸・県)

単位: ha

全国農業 地域・県	耕地面積		作付(栽培) 延べ面積		作物									
					水稲 (子実用)		麦類 (子実用)		大豆 (乾燥子実)		そば (乾燥子実)		その他 作物	
	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差
北 陸	306,700	△ 1,300	273,700	△ 1,300	201,800	△ 4,600	9,990	250	11,700	△ 200	5,540	△ 30	44,700	3,400
新 潟	168,200	△ 800	146,000	△ 700	117,200	△ 2,300	201	X	4,090	△ 90	1,250	△ 20	23,200	1,600
富 山	58,000	△ 200	52,400	△ 200	36,300	△ 800	3,360	90	4,250	△ 20	544	27	7,890	520
石 川	40,600	△ 200	34,400	△ 200	23,800	△ 1,000	1,550	120	1,620	△ 10	354	△ 23	7,140	790
福 井	39,900	△ 100	41,000	△ 100	24,500	△ 600	4,890	90	1,740	△ 60	3,390	△ 10	6,440	380

注: 1 麦類(子実用)は、小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦の4麦の合計面積である。

2 その他作物は、陸稲、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、野菜、果樹、茶、飼肥料作物、桑、花き、花木、種苗等である。

3 子実用(乾燥子実)作付面積は、食用又は種子用を目的に生産されるものをいう。なお、食用を目的に未成熟で収穫される場合や子実生産以前に刈取りされたものは除く。□

4 統計数値については四捨五入しており、北陸値と内訳の計が一致しない場合がある。

5 対前年差の「X」は、前年の生産者数が2以下の品目があり、差引きにより、秘匿措置を講じた前年結果が推定できることから、調査結果の秘密保護の観点から「X」表示としている。

2 耕地利用率

北陸における令和3年の耕地利用率は89.2%で、前年に比べ0.1ポイント減少した。特に、福井県の耕地利用率は102.8%で、全国4位となっている。

福井県は、他県に比べ麦類の作付面積が多く（4麦計は全国13位、六条大麦は全国1位）、麦の収穫後にそば・大豆等を作付けしていることで、耕地利用率が高くなっている。

表2 令和3年耕地利用率と前年比較

全国農業 地域・県	全 順	国 位	耕地利用率	
			田畑計	対前年差
			%	ポイント
北 陸		—	89.2	△ 0.1
新 潟		25	86.8	0.0
富 山		19	90.3	△ 0.1
石 川		30	84.7	△ 0.1
福 井		4	102.8	0.0

【問合せ先】

北陸農政局 統計部 生産流通消費統計課
(直通) 076-232-4895